

第11回世田谷ガリレオコンテスト（科学コンテスト）の実施結果について

区立中学生の科学への関心を高め、豊かな創造力と問題解決の力を育み、学ぶ意欲を醸成するため、自然科学・科学技術（プログラミング、ものづくり等）等に関する研究作品を募集し、「第11回ガリレオコンテスト」を実施したので報告する。

- 1 日 時 令和3年1月23日（土）午後2時～4時
- 2 会 場 区立烏山区民会館ホール
- 3 実施方法 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は電子会議用アプリによるオンライン配信を行い、会場内の参観者を限定して実施した。また、大学教授による講演についても、大学の教室からのオンライン配信で実施した。
- 4 参観者数 146名（オンライン参観者＝一般・学校関係者・講演講師等 94名）
（会場参観者＝発表生徒・保護者・引率教員・審査員等 52名）
- 5 コンテスト概要

（1）研究発表

応募総数2,198点の中から第1・2次審査を経て選出した9作品の研究発表を行った。今年度、発表者はプレゼンテーション資料を双方向型学習支援アプリを用いて作成し、当日はオンラインによる配信を行った。

（2）最終審査

10名の審査員（大学副学長・教授、財団職員、中学校校長・副校長、化学実験室職員により構成）が審査し、各賞の入賞者を決定し、表彰した。

（3）受賞者（氏名等は、発表順）

①ガリレオ賞（最優秀賞）

青山 海央（上祖師谷中学校1年）「ダンゴムシの研究～交替性転向について～」

千葉 ひかり（駒沢中学校1年）「快適なマスクを探せ！！」

新藤 真綾（用賀中学校1年）「ピーマンをおいしく食べるには？」

②アイデア賞（優秀賞）

若林 美咲（駒沢中学校1年）「風車の羽根の研究」

山本 悠斗（梅丘中学校1年）

「宇宙で『音』は、どう聞こえる？～真空ポンプの自作～」

③ドリーム賞（優秀賞）

二宮 凜心（奥沢中学校1年）「マメルリハの羽と撥水の秘密」

矢橋 彩果（船橋希望中学校2年）「野菜を長持ちさせる方法」

④サイエンス賞（優秀賞）

佐藤 涼（船橋希望中学校2年）「リラックスできる曲はどんな曲か？」

古幡 桜（砧中学校1年）「鏡のくもりを防ぐには？」

(4) 講演 「ミクロ探検隊 ―電子顕微鏡の世界にようこそー」

講師 矢口行雄氏（東京農業大学教授・農生命科学研究所超微細形態解析室）

6 協力団体

東京農業大学、東京都市大学、一般財団法人材料科学技術振興財団、
公益財団法人加藤山崎教育基金、公益社団法人世田谷工業振興協会